

第1回室蘭地区指導者研修会報告書

令和元年 7月24日

報告者 ユース育成部会 深谷明弘

- 1 目的 室蘭地区の一貫指導を目指した指導技術の向上とベクトルの共有の場とする。
- 2 主催 室蘭地区サッカー協会
- 3 主管 室蘭地区サッカー協会ユース育成部会
- 4 期日 令和元年 7月22日(月) 18:00-20:00
- 5 場所 北海道大谷室蘭高等学校体育館
- 6 指導者 深谷明弘 指導実践補助員(室大谷サッカー部員16名参加)
- 7 内容 トレセンスタッフスキルアップ指導実践及びディスカッション
- 8 対象者 トレセンスタッフ及び室蘭地区登録チーム指導者
- 9 報告 当日は12名の地区指導者が参加
(1種:1名、2種:1名、3種:8名、4種:2名、女子1名) 第1回:12名参加
テーマ:前線の崩し

指導実践者1 Tr1 Tr2 (木村隆介氏:コンサドーレ室蘭)

T1では、出し手の受け手の動き出しのタイミング、また出し手側の落ち着いたポゼッションから攻撃を組み立てることをフォーカスし、コーチング。やや、ルール設定が曖昧な部分があったものの、選手の考えを引き出し効果的なトレーニングであった。また、前線2人のコンビネーションの改善から、相手DFのラインを崩すことができた。T2では数的同数となり、よりタイトな環境下で崩すことに挑戦。選手たちに要求しながらも、的確なジャッジで現象を捉える事が出来ていた。

指導実践者2 Game (渡邊健太郎氏:虻田中学校)

T1, T2の積み上げからのGAME。全体的ゲームを止めずにシンクロでジャッジすることができた。シンクロの内容も的確なものであったが、ONの選手に対するコーチングが中心となり、OFFの選手への働きかけやジャッジがほしいところであった。

まとめ ユース育成部会(深谷)より

今年度は主としてトレセンスタッフのスキルアップを目的に実施する。今回の研修会後のディスカッションでは、トレセンスタッフとしては、ONの選手への適格なコーチングはもちろん、OFFの選手へのジャッジも必要不可欠であることで共通理解を得ることができた。

今回は、ディスカッションで活発な意見交換がなされ、スタッフの意識の高さを感じることができた。また、上級ライセンスへ挑戦していることで、確実にレベルアップしていることも確認することができた。

課題としては、平日開催の影響もあるがトレセンスタッフ以外の参加者が一人もいなかったことは残念であった。アナウンス方法や時期などを再検討し、多くの指導者の方々に参加していただけるよう工夫したい。